

婦人会報

立教183年

6月

令和2年
2020年



天理教婦人会旭日支部 通巻492号

会員の皆様、お元気にお過ごしでしょうか？

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、政府から緊急事態宣言が全国で発令され、外出自粛、各学校休校、人が多く集まることもできなくなり、教会の月次祭も限られた人数でつとめるなど、今まで経験したことがない大変な状況が続きました。そのような中、婦人会創立百十周年への御祝金、また「創立百十周年日々の御供え」などお心寄せを頂きまして、ありがとうございました。それぞれ教会本部、婦人会本部へ運ばせて頂きました。記念総会は中止になり残念でございましたが、皆様の真実の歩み、誠の心は親神様にお受け取り頂いたことと思います。

婦人会長様が、私達会員に向けて『みちのだい』第百九十六号誌に次のように思いを寄せて下さっています。

このふしを通して皆さんもそれぞれに考え、思い浮かんだことがあると思います。

親神様が「婦人会というは、道始めて互い／＼の諭し合いの道治めてやれ。」とお諭し下さるように、銘々が感じたこと、気づいたことや、婦人会の元一日について談

じ合い、親神様の思召を肝に銘じて実行していくことが、今、婦人会員のするべきことだと思えます。・・・現在は、思うように動けない状態ですが、電話でも論し合いはできますし、手紙でも教えは伝えられます。

まだ、先が見えない不安でいつぱいな状態ですが、親神様は可愛い子供である人間を、困らせようと思われることは決してありません。親神様のお心は、可愛い子供を陽気ぐらしへ導いてやりたい、たすけたい一条の親心です。親心いつぱいに導いて下さる親神様、教祖を信じて、女性が今こそ踏ん張って、このふしを乗り越えていけるよう、互いに励まし合って明るく元気に通らせて頂きましょう。

今私達にできることは、おつとめを真剣に勤め、心を澄ます努力をし、心を勇ませることだと思えます。また、原典、教祖伝を繙いて、をやのお心を求める時間を十分に持つこともできます。そして親神様、教祖にしっかりと心をつなぎ、よふぼくとしての自覚を持つてできることを考え、たすけ合いの心を忘れずに通らせて頂きましょう。

現在緊急事態宣言は解除されましたが、感染に注意をしながらの制限ある活動になります。人が大勢集まっつての行事はできにくい状況ですが、この状況でもそれぞれが自主的に教えの実践に励むことはできます。「全教一斉ひのきしんデー」の日、大きな会場での開催は中止になりましたが、それぞれが自主的に自分達で考え、身近な所を身近な人達で実践していました。これからは、常に婦人会で呼びかけられてきた「身近な人へ教えを伝え、実のようばくに育てましょう」の実践も大事だと思えます。また、教友の勇んだ姿にも感化されます。『みちのだい』をはじめ、『みちのとも』、天理時報などを読ませて頂き心の糧としましょう。お互いに今できることを考え、女性のぬくみ、つなぎの徳分を發揮して、この困難な状況を乗り越えていきましょう。

婦人会旭日支部長 岡本道子



七月例会案内

日時 七月五日(日) 午前九時半
場所 旭日大教会
内容 教祖祭
よろづよ八首

お話(八つのほこり・よく

吉日委員部・奥村はる恵)

大教会ひのきしん

昼食(弁当)

女子青年例会案内

・今月の例会はありません。



七月例会役割 七月月次祭当番

*今後の社会状況を鑑みて、各自に連絡いたします。



様々な行事につきましては、社会状況によって変更になる場合がございます。また、ご参会頂く際にはマスク着用で、密を避け、間隔を取り席も限ります。暑くなってきましたので、終始マスク着用での体力に不安のある方、高齢者、乳幼児などは無理をせず休んで頂き、各地から遙拝して下さいますよう、ご理解、ご協力よろしくお願いたします。

発行日 令和二年六月五日

発行者 岡本道子

発行所 天理市田井庄町一二八

天理教婦人会旭日支部